

不燃化特区 防災まちづくりフェア を開催しました

ゆいの森あらかわで「不燃化特区防災まちづくりフェア」を12月2日（土）に開催しました。会場は、アニメ上映、小学生ワークショップ、ゆいの森防災見学ツアー、消防体験、パネル展示、スタンプラリーをはじめ、横浜市立大学石川永子先生による基調講演でにぎわいました。



荒川区からののお知らせ

不燃化特区内にある老朽した木造建築物の建て替えなどに関する相談窓口です。



場所 防災センター1階
(荒川二丁目25番3号)

予約制 となりますので、相談をご希望される方は、下記まで事前にご連絡ください。

お問い合わせ先

荒川区 防災都市づくり部 防災街づくり推進課 防災街づくり係（区役所北庁舎2階⑭窓口）

電話：03-3802-3111（内線2828）／FAX：03-3802-4104



発行：荒川五・六丁目防災まちづくりの会
編集：荒川区防災都市づくり部防災街づくり推進課
(協力：ランドブレイン株式会社)
通巻第67号 平成30年3月

平成29年度の取り組み報告

防災まちづくりマップ特集号

「荒川五・六丁目防災まちづくりの会」では防災まちづくりに関する取り組みを行っています。

今年度3回開催したまちづくりの会では、まちの歴史と防災まちづくりの課題を整理し、荒川五・六丁目とその周辺にある震災・火災・水害時の防災資源等を地図に示した「荒川五・六丁目地区防災まちづくりマップ」を作成しました。さらに、防災まちづくりマップを家庭や町会で活用していくための方法などについて、活発に意見を述べ合いました。

平成29年度の活動内容は次の通りです。

第1回まちづくりの会 平成29年7月10日	①今年度の取り組み内容について ②防災まちづくりマップの作成 ③まちづくり新聞第66号の発行について
第2回まちづくりの会 平成29年10月24日	①防災まちづくりマップの検討
第3回まちづくりの会 平成30年1月31日	①防災まちづくりマップ案の決定 ②今年度の取り組み報告 ③まちづくり新聞第67号の発行について

荒川五・六丁目防災まちづくりの会が作成した「荒川五・六丁目地区防災まちづくりマップ」については、P2～P7をご覧ください。



防災まちづくりマップについて話し合う
荒川五・六丁目防災まちづくりの会

まちの歴史と 防災まちづくりの課題

荒川五・六丁目地区 防災まちづくり マップ

荒川五・六丁目防災まちづくりの会

荒川五・六丁目地区は古い木造建築物が密集しており、東京都の地域危険度測定調査において、災害時の危険度が高い地区であると評価されています。

荒川五・六丁目の周辺地域は、大正時代に入ると徐々に農村からまちへ変化し始めました。関東大震災後には、東京市内で被害にあった人々が本地区に多数流入し、急激に人口が増加したことで、住宅などの建物も急増しました。太平洋戦争中は疎開や空襲被害などで一時、人口は減りましたが、戦後は工場などが建ち並ぶにつれ、多くの商店街が発展し、早期に街の活気を取り戻しました。

そのため、都市基盤が未整備なまま、古い木造建築物が密集しているという防災面の課題があり、改善に向けて取り組んでいるところです。

荒川五・六丁目防災まちづくりの会では、防災まちづくりの取り組みや、地域の防災情報などをまとめ、「荒川五・六丁目地区防災まちづくりマップ」を作成しました。各ご家庭で、地域の特性を再確認し、避難経路の検討などにお役立てください。

関東大震災 (大正 12.9.1)
工場が密集し人口の密度も高い、荒川区日暮里、三河島、南千住の3か町※1は被害(倒壊家屋や火災被害)が大きなものとなった。
※1 旧町名
昔、荒川五丁目や六丁目の南部の地域は「三河島」という町名でした。



【参考】震災直後の第三峡田小学校付近

平和通り商店街のまちなみ



関東大震災後、多くの被災者が転入し、住工商が混在した建て込んだ街が形成され、密集市街地の原型がつけられました。

空襲の記録

太平洋戦争の終戦時、荒川区は、空襲によって七百数十名の犠牲者と区の総面積の45%、4.75 km²にのぼる面積を焼失した。

戦災復興でまちづくりの契機をつかめず、防災の課題が現在まで残されてしまいました。

資料:「荒川区の歴史/松平康夫・文東京にふる里をつくる会編」より

古くからの商店街と歴史 (現在の荒川六丁目あたり)

昔なつかし 地図



下町のお祭り 天王祭



古くからの商店街と歴史などの良い面もあり、毎年6月には天王祭(素盞雄(すさのお)神社例大祭)が開催され、にぎやかな神輿が街を練り歩きます。

(戊辰戦争で)彰義隊(旧幕府軍)が上野で(政府軍に)負けて逃げていった道。その途中で宝を埋めたという話がある。

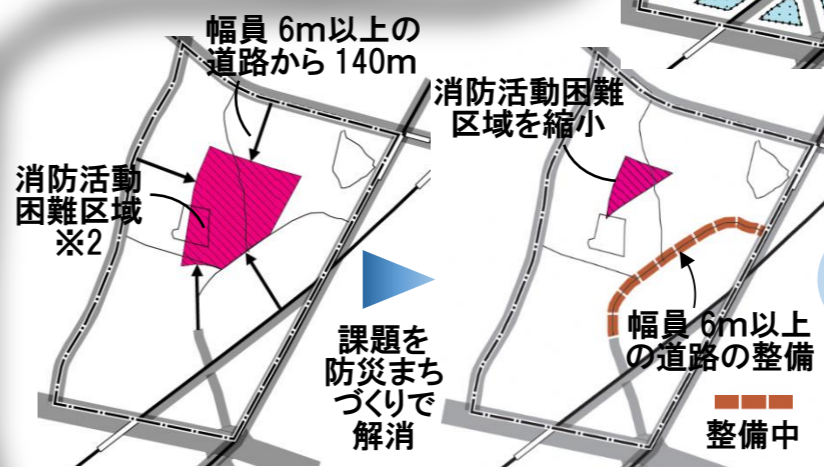
幅員4m未満の道路しかない地区



老朽木造住宅が多い地区



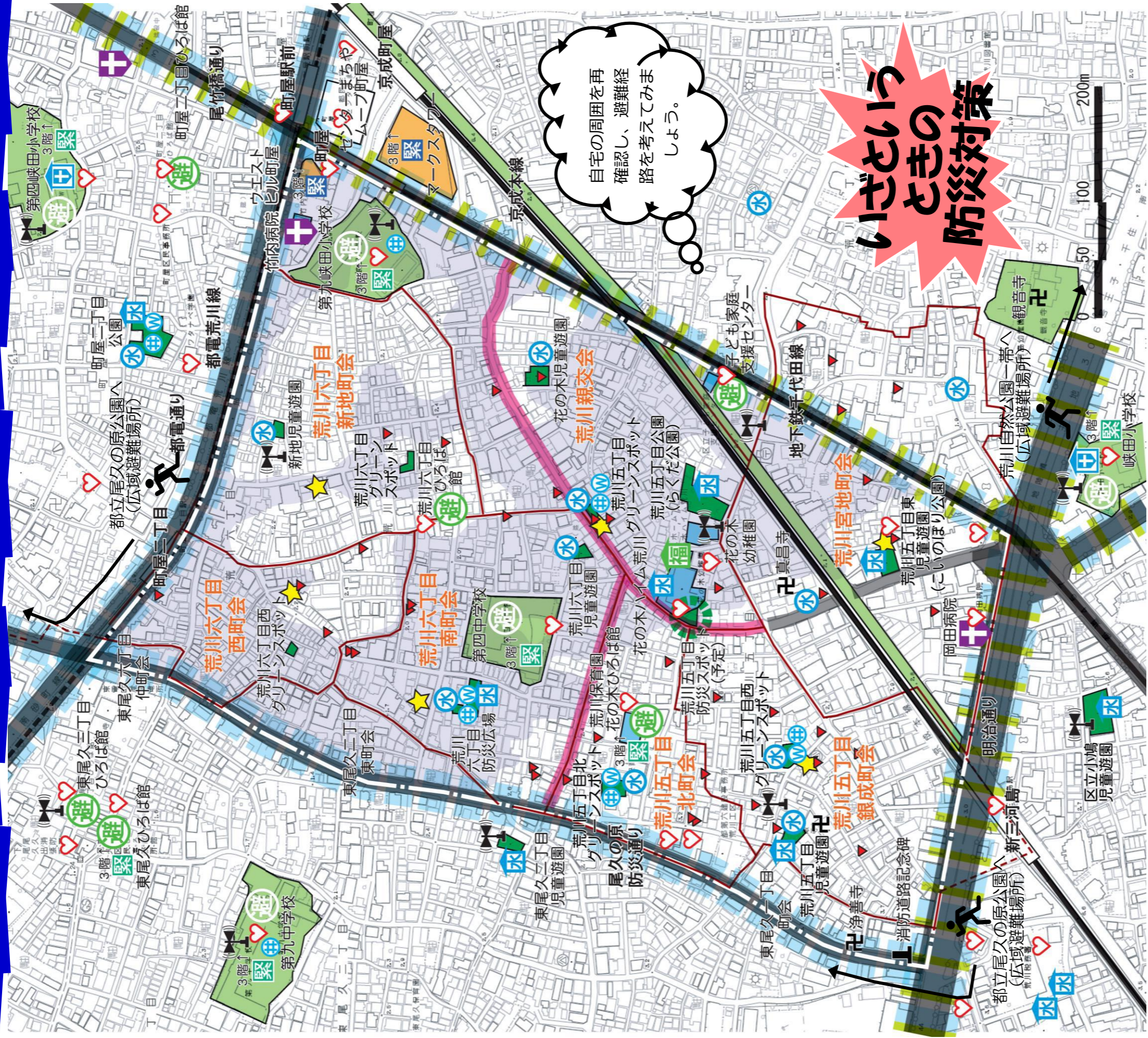
防災時に役立つ公園、広場をこまめに整備



※2 幅員6メートル以上の道路から140メートル以上離れた区域

防災まちづくりでは、不燃建築物等への建替え促進や、地区計画などの手法も加え、防災課題の解消を目指しています。

荒川五・六丁目地区防災まちづくりマップ



凡例

- 防災街づくりにかかわるもの
- 幹線道路 (緊急輸送道路)
- 幹線道路 (延焼遮断帯)
- 主要生活道路
- 幅員7.8m以上の道路
- 震災、火災時の防災資源
- 一次避難所
- 二次避難所
- 福祉避難所
- 防災行政無線屋外子局
- 小型防火水槽 (5t以下)
- 消防水利 (40t以上)
- AED (施設開館時間内利用可)
- 災害拠点連携病院
- 緊急医療救護所(トリアージポスト)
- いっとき集合場所
- 大型消火器 (50型)
- 防災井戸
- マンホールトイレ
- 公園、児童遊園、防災スポット、グリーンスポット
- 水害時の防災資源
- 緊急3階 | 災害時地域貢献献建建築物・緊急避難建物 (公共施設)
- 緊急3階 | 災害時地域貢献献建建築物・緊急避難建物 (区認定施設)
- ※ 地震等の災害に備えるとともに、水害時に近隣住民のいっときの避難先となる建物
- 荒川洪水時の浸水深
- 浸水深 3.0m~5.0m未満
- 浸水深 0.5m~3.0m未満
- まちの特徴・歴史
- 社寺
- 記念碑
- 町会・町会会館
- 基本情報
- 鉄道・駅
- 主要公共施設
- 荒川五、六丁目地区

避難先一覧

町会	いっとき集合場所	広域避難場所	一次避難所
荒川宮地町会	峡田小学校 京成線沿線道路上	荒川自然公園 一帯	峡田小学校
荒川五丁目銀成町会	第四中学校 京成線沿線道路上	都立尾久の原公園一帯	第四中学校
荒川親交会	第九峡田小学校 京成線沿線道路上		第九峡田小学校
荒川五丁目北町会	第四中学校	都立尾久の原公園一帯	第四中学校
荒川六丁目南町会			第九峡田小学校
荒川六丁目新地町会	第九峡田小学校 京成線沿線道路上	都立尾久の原公園一帯	第九峡田小学校
荒川六丁目西町会	第九峡田小学校		第九峡田小学校

地域特性を理解し、家庭や町会で活用を！

■道路空間を広げています。

避難路や円滑な災害救助活動のために必要な道路空間を確保しています。



主要生活道路

理解を深める



■不燃化建築物への建替えが進んでいます。

大地震による建物の倒壊や火災の延焼を防止できます。

■空地などを利用した小さな広場の整備を進めています。

災害時の初期消火や救助活動のための空間です。日ごろは憩いの場として利用できます。



荒川五丁目グリーンスポット

地域の方が花壇の手入れをし、街角に潤いを与えています。



「荒川五・六丁目地区防災まちづくりマップ」
(詳しくは、p4,5をご覧ください)

■防災のために整備された道路があります。

「尾久の原防災通り」は、第二次世界大戦中に、空襲による延焼防止を目的として、建物を疎開させ、敷設・拡幅された道路です。その後、平成に入り、広域避難場所へ続く道として、さらなる拡幅とともに、電線の地中化等の整備が行われました。



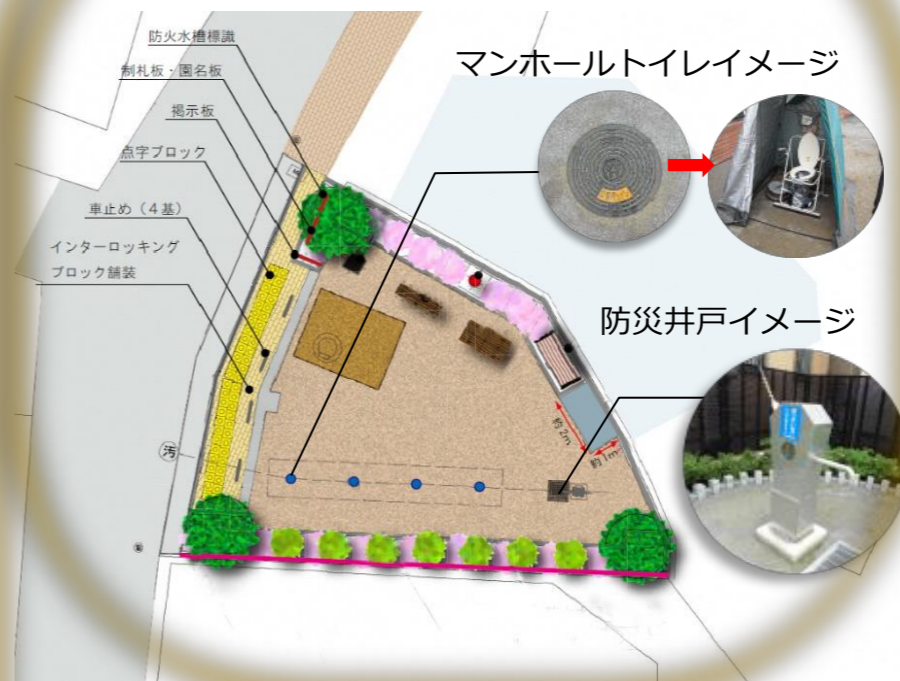
尾久の原防災通り

広い歩道と電線の地中化で安全、すっきりした通り



消防道路記念碑

花の木防災スポット (案) 今年度整備予定



活用する

マンホールトイレの設置訓練



防災井戸の使い方



●町会の防災訓練で、マンホールトイレの設置方法や防災井戸、AEDなどの使い方を覚えよう！

設置の場所は防災マップで確認できます。最寄りの場所をマップで確認しておきましょう。



AEDの使い方訓練



●家庭で避難経路を再確認！

避難の際は危険な個所を通らないように、あらかじめ避難経路を決めておきましょう。

避難経路を書き加えると「我が家の防災マップ」になります。



古くて高いブロック塀
こんな道が近くにありませんか？



閉塞しそうな狭い道路



狭い道路にある大きな電柱